

“The Tree Of Life”

maiko^{violin}
 西山瞳^{piano}
 安カ川大樹^{contrabass}

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
 ※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **02月11日** (祝木)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC=3700円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
 必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
 ご記載下さい。



安カ川大樹

1967年、兵庫県西宮市出身。幼少のころよりピアノを始め、明治大学入学後、「ビッグ・サウンズ・ソサエティ・オーケストラ」入部を機に、コントラバスをはじめ。牧島克彦氏、吉野弘志氏、吉田秀氏に師事。1991年、アルファレコードより、CD「Down under」に参加、プロ活動を開始する。96、97年にはマリナ・ショー (Vo) の全国ツアーに参加。98年より、故日野元彦 (ds) のクインテットに抜擢され、CD「ダブルチャント (EWE)」に参加する。2001年より自己トリオ、ソロライブ活動を開始。2008年「レーベル D-MUSICA」を立ち上げ、今までに30タイトル以上の意欲的な作品をリリース。2012.13.14年3年連続で、レーベルアーティストのイベント「ダイキムジカ祭り」を開催。ジャズライブ誌等に絶賛される。100枚を超える国内外のレコーディングに参加。TV ラジオ等の出演 や国内外のジャズフェスティバルにも数多く出演。ジャズのフィールドだけにとどまらず、金子飛鳥ストリングスアンサンブル、加古隆「色を重ねて」公演、テレマン交響楽団との共演など幅広い活動も行なう。卓越した音楽センス、技量、スケールの大きなオリジナル曲、今最も注目を集めているベーシストである。

西山瞳

6歳よりクラシックピアノを学び、18歳でジャズに転向。大阪音楽大学短期大学部音楽科音楽専攻ピアノコースジャズクラス在学中より、演奏活動を開始する。卒業後、エンリコ・ピエラヌツィに傾倒。2004年、自主制作アルバム「I'm Missing You」を発表。2005年、横濱ジャズプロムナード・ジャズコンペティションにおいて、自己のトリオでグランプリを受賞。2006年「Cubium」をスパイスオブライフ (アミューズ) よりリリースし、デビューする。「Many Seasons」「In Stockholm」と、2枚のスウェーデン録音作品をリリース。2008年「Parallax」では、HMV ジャパニーズジャズチャート1位を獲得、スイングジャーナル誌日本ジャズ賞にノミネートされる。2010年、アメリカで最大規模の作曲コンペティションであるインターナショナル・ソングライティング・コンペティション (ISC) で、全世界約15,000エントリーの中から自作曲「アンフォールディング・ユニバース」がジャズ部門で3位を受賞。合わせて、自作曲「ソウル・トラベル」がセミファイナルに選出され、コンポーザーとして世界的な評価を得た。2011年発表「Music In You」では、CD Journal 誌2011年のベストディスクに選出される。2014年には最新トリオ作「Shift」を発表。

公式ホームページ <http://hitominishiyama.net/>

maiko

神戸市出身。3歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。1999年4月、上京。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏のライブに通いつめ、アドバイスを頂きながらジャズバイオリンの研さんを始める。1999年12月、第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年からの8年間で2,000回を越えるライブ・パフォーマンスを行い、自己のスタイルを確立する。2009年9月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。2012年より『須藤元気率いるWORLD ORDER LIVE』国際フォーラムやNHKホール・武道館でのコンサートに参加。現在首都圏のライブハウスを中心に自身がリーダーのライブ活動をするとともに、Trump、じゃず撫子、SJS、P.O.N.他、多くのバンドやセッションに参加。ビバップ、スウィング、ECM、フュージョン、ラテンと幅広いジャンルにおいて、音色の美しさや熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。スタジオやCM、イベント・パーティ等での演奏、学校公演、病院・施設でのボランティア演奏等、表現者としてさまざまなシチュエーションでのパフォーマンスを精力的に行う。また、自身が阪神・淡路大震災を被災した経験から、気仙沼や陸前高田等、被災地へボランティア演奏に赴いている。